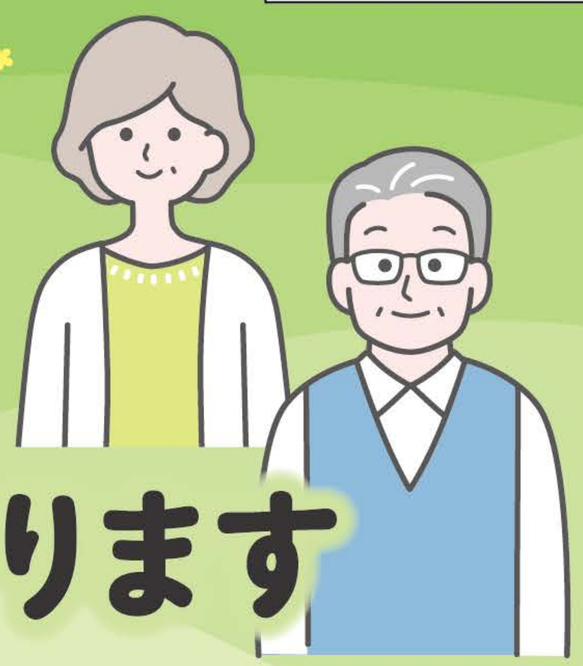
2026年4月以降

肺炎の主要な原因である

肺炎球菌の感染症を予防できるワクチンがあります



65歳の方などを対象に定期接種を実施しています。

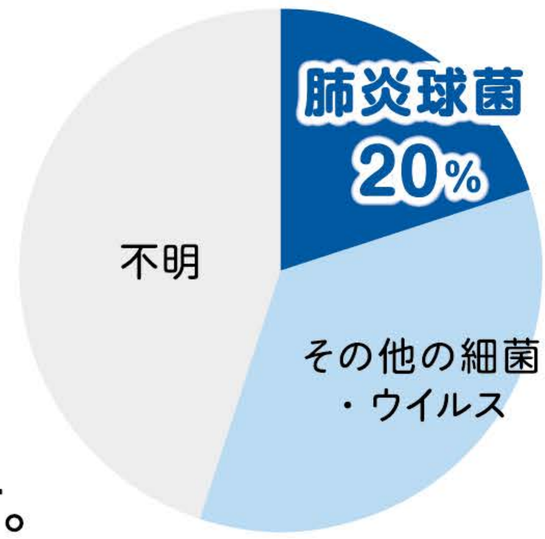
肺炎球菌とワクチンについて

○肺炎は日本の**死亡原因の第５位**であり、成人の肺炎の**約２～３割**は、**肺炎球菌という細菌により引き起こされる**との報告があります。

○肺炎球菌は、このほかにも、血液の中に細菌が回ってしまう敗血症（はいけつしょう）などの重い感染症の原因になることがあります。

○肺炎球菌による感染症に対して、すべての肺炎などが防げるわけではありませんが、**有効性・安全性が確認されているワクチン**があります。

〈肺炎の原因(※)〉



(※) Y Fujikura, et.al. BMJ Open Respiratory Research 2023; 10 (1) :e001800 の結果より作図

定期接種の対象と使用するワクチン

■**対象となる方**（定期接種は❶、❷、❸を通して**生涯で１回のみ**となります）

❶ 65 歳の方

注意 **定期接種の機会は65歳の１年間**です。定期接種の対象となる方で、接種を希望する方は、**接種の機会を逸することがないよう**ご注意ください。

注：65 歳を超える方を対象とした経過措置は 2024 年３月 31 日に終了しました。

❷ 60～64 歳で
心臓や腎臓、呼吸器の機能に障害があり、身の回りの生活を極度に制限される方

❸ 60～64 歳で
ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な方

■**定期接種で使用するワクチン： 沈降20価肺炎球菌結合型ワクチン（PCV20）**

ひと、くらし、みらいのために
厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

ワクチンの効果

〇肺炎球菌には100種類以上の血清型があり、定期接種で使用される「沈降20価肺炎球菌結合型ワクチン（PCV20）」はそのうちの**20種類の血清型を対象としたワクチン**です。

〇この20種類の血清型は、**成人侵襲性肺炎球菌感染症（※）の原因の約５～６割を占める**という研究結果があります。

〇また、このワクチンは、**血清型に依らない侵襲性肺炎球菌感染症を約３～４割程度を予防する効果**があるという研究結果があります。

（※）侵襲性感染症とは、本来は菌が存在しない血液、髄液、関節液などから菌が検出される感染症のことをいいます。

ワクチンの安全性

〇このワクチンの接種後に、副反応が生じることがあります。

〇主な副反応には、接種部位の症状（痛み、赤み、腫れなど）、筋肉痛、だるさ、発熱、頭痛などがあります。

〇接種後に気になる症状や体調の変化があらわれたら、すぐ医師にご相談ください。

定期接種を受ける方法・費用

〇定期接種はお住まいの（住民票のある）市町村（特別区を含む。以下同じ。）で実施されます。

〇接種を受ける場所や費用についての詳細は、お住まいの市町村にお問い合わせください。

予防接種健康被害救済制度について

予防接種は、感染症を予防するために重要なものですが、健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が起こることがあります。極めてまれではあるものの、副反応による健康被害をなくすことはできないことから、救済制度が設けられています。

制度の利用を申し込むときは、予防接種を受けたときに住民票を登録していた市町村にご相談ください。

より詳しい情報については、右記のホームページをご確認ください。	肺炎球菌感染症（高齢者）について➡		予防接種健康被害救済制度について➡	
ホームページをご覧になれない場合は、お住まいの市町村等にご相談ください。	厚労 肺炎球菌 高齢者 検索		厚労 予防接種 救済 検索	

お問合せ先